

モウソウチクとトウフ粕およびショウユ粕混合ペレットの反すう家畜における栄養価と乳牛への給与

家木 一¹、小池 正充¹、佐野 善徳²、田所 研²

¹ 愛媛県畜産研究センター・² 新興工機株式会社

【目的】モウソウチクの飼料価値改善を目的としてモウソウチク、トウフ粕およびショウユ粕を5:4:1(乾物比)で混合したペレット飼料(BSSP)について、ヤギを用いて成分消化率と栄養価を明らかにするとともに、乳牛におけるアルファルファヘイキューブ(AC)との代替利用を乳生産と血液成分から検討した。【方法】BSSPの成分消化率と栄養価は、交雑種雄ヤギ3頭を用いて予備期7日間・本期7日間の全糞採取による消化試験を行い、ACを基礎飼料とする間接法で求めた。また、ホルスタイン種成雌牛4頭を用い、給与飼料の10%(乾物中)をACで給与した場合(AC区)とBSSPで給与した場合(BSSP区)の2処理を設け、1期14日間の2×2スイッチバック法により泌乳成績と血液成分を比較した。飼料給与は、TDN要求量の105%相当量を1日2回(6:00と16:00)分離給与した。

【結果】間接法で求めたBSSPの栄養価(乾物中)は、TDNが59.7%、可消化粗タンパク質が11.1%であった。乳牛への給与では、BSSPの嗜好性は良好で乾物摂取量に処理間の差はなく、乳生産や血液成分にも有意な差は認められなかった。以上のことから、BSSPはACの代替飼料として乳牛への利用が可能であることが示された。